

■ つまづきが予想される問題(1)

大問1(1)(目標値55.0%)

【ねらい】地図中の本初子午線と赤道が交わる地点について読み取ることができる。

【つまづきが予想される内容】

本初子午線と赤道の意味やおよその位置を理解すること。

大問3(1)①(目標値40.0%)

【ねらい】インドでIT関連産業が発展した背景について、複数の資料をもとに考え、表現することができる。

【つまづきが予想される内容】

アメリカ合衆国とインドの時差に着目し、インドのIT関連サービスの輸出先と関連付けて表現すること。

◆ 指導のポイント

- 赤道、本初子午線、北半球・南半球などの意味について、地球儀やICT教材等を活用し、**実感**を伴って理解させるようにする。また、緯度や経度を用いて地球上の位置を表す活動を仕組む。
- 時差のある海外の様子を衛星中継する映像を活用し、**生活場面と結び付けて**時差の概念を理解できるようにする。

★ 指導の具体例

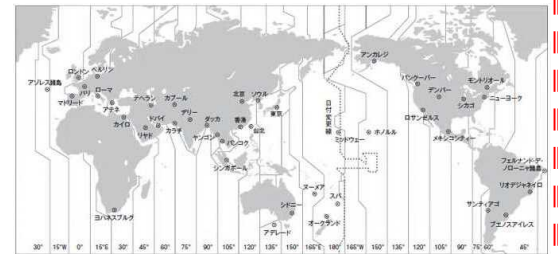
赤道や本初子午線等の理解を深める活動(例)

- 導入時に、Google Earth等でグリニッジ天文台や赤道記念碑等の画像を見せ、興味をもたせる。
- 地球儀や地図帳で、赤道が通る国を調べ、国名を挙げる。
- 地図帳を使って、緯度・経度の数字が同じ地点(例:北緯30度、東経30度)にある国をできるだけたくさん挙げる。
- 日本の対蹠点(地球上の正反対の地点)を、緯度・経度を基にして探す。
- 本初子午線、赤道、経度180度の線を基に、世界の略地図をえがく。



時差の概念を理解させる活動(例)

- 導入時に、海外のニュースやスポーツの中継映像を見せ、なぜ時差が生まれるのか興味をもたせる。
- 等時帯や日付変更線を示す地図と地球儀を見比べ、海外旅行をしてみたい国と日本との時差を調べる。
- 国際電話をかける際、何時に電話すれば失礼にならないかを考える。



■ つまづきが予想される問題(2)

大問7(2)(目標値45.0%)

【ねらい】室町幕府の政治について、複数の資料から読み取り、判断することができる。

【つまづきが予想される内容】

荘園の様子を表した絵地図とその近隣の出来事を示した年表から必要な情報を取り出し、関連付けて、当時の用水の利用と惣(惣村)について思考・判断すること。

◆ 指導のポイント

○下記のどの段階でつまづいているのか実態把握し、支援・指導していく。

① 複数の資料から条件に合致した情報を取り出す段階

② 取り出した情報を比較したり、傾向を抽出したりする段階

③ 比較したり、抽出したりした結果等を関連付けて、条件に沿って記述する段階

○複数の資料から情報を取り出し、関連付けて、社会の中にある問題を見付けたり、その解決に向けて考えたりする場面を設定する。

○グループ等による学習を通して、自分とは異なる視点から取り出した情報を得たり、そこから広がった考えを記述したりする場面を設定する。

★ 指導の具体例

複数の資料から読み取った事実をカードに書き、観点に即して整理する活動(例)

① 複数の資料から条件に合致した情報を取り出す段階

○表題、調査時期、調査対象、凡例などを確認させる。

○どの言葉や数字に着目すればよいか考えさせる。

○それぞれの資料から分かる事実をカードに書かせる。

② 取り出した情報を比較したり、傾向を抽出したりする段階

○書いたカードについて、適切な観点を与え、比較・分類、関連付け等を行い、整理させる。

○事実と事実から言えること、それらを根拠にして考えられることを班で出し合わせる。

③ 比較したり、抽出したりした結果等を関連付けて、条件に沿って記述する段階

○どの資料を基に考えたのか記述させることで、根拠をはっきりさせ、資料と資料の関連付けも意識させるようにする。

【参考】平成24年 全国学力・学習状況調査 授業アイデア例